

クラス会 (14クラス会)

全国のクラス会のご紹介です。毎年たくさんのクラス会が催され、ご寄稿いただいています。紙面の都合上、写真は1枚、原稿は800字までとさせていただきます。何卒ご協力のほどお願い致します。

1 宇都宮大学農学部林学科第12回 クラス会 (昭和39年卒業) クラス会「濁り酒会」

大学卒業から半世紀余り、かつて森林実習やハイキング・スキーなどで青春を謳歌した朋友が那須高原に集まった。今回の参加者は会員11名、夫人5名、計16名で、女性の参加がきわだった。

祝宴では、当時の学園前夜祭で好評を博した「スーダラ節」を滑稽な振り付けで歌い盛りあがった。最後に林学科の歌を合唱して往時を偲んだ。

翌日の「森林実習」では、ちょうど満開の八幡のつつじ群落や新緑の那須平成の森を探索し、鈴木文益講師の講義で締めくくった。(幹事 増子 博)



2 昭和44年農芸化学科卒 クラス会 同窓会開かる

昭和44年農芸化学科卒同窓会が11月17日18日塩原温泉で16名の参加により開催されました。同窓会は一昨年の諏訪温泉での開催以来二年ぶりとなりました。今回は、学生時代に皆で酒を飲み交わした塩原の温泉、と紅葉、そして翌日の昼食をホテルランチにしようというテーマで開かれました。

11月中旬の時期を選んだのは、11月15日は孫の七五三祝いが重なってはいけなそうと考えましたので、紅葉にはやや遅く、残り紅葉となってしまいました。17日は好天でしたが、18日は雨天の予報でもみじラインが雪になってはいけなそうとして行程を変更せざるを得ないと思いましたが、参加した皆さんの強運に助けられ、無事雨にも降られず、鬼怒川温泉に抜けられました。龍王峡の観光を予定していましたが、膝の痛みで悩まれている方もおり、予定を変更しペゴニア園を鑑賞し、昼食会場である日光市内のホテルに一路向かうことになりました。今日のランチは、日光名物の湯葉御膳でした。

皆さん、旅館での朝食を十分召しあがられたにもかかわらず美味しく完食されました。今回の同窓会では、皆さんお酒は控えめでしたが食欲旺盛で日頃の元気が良く伺えました。食事のあと、次回を、来年群馬県での再会を約束し解散しました。次回には、今回参加できなかった同窓生

も是非参加して戴き、楽しい同窓会にしましょう。

文責 柳澤 章



3 人生100年時代への出発 クラス会 農学科第7回生 (S.34年卒)

平成29年11月15日に、鹿沼市栃窪にあるホテル・ニューサンピア(元厚生年金施設)に宿泊した。毎回のように「今年で最後…」と云いながら、「顔合わせができる間は集まろうよ!」を合言葉に、ここ数年は恒例の行事として、宇都宮を中心に同期の集いを持ってきた。(いつも「大学歌」を歌っています。)

フレイル、サルコペニア等、超高齢社会に生きる我々が、健康寿命を保ち続けるために必要な虚弱体質・筋肉減少体質からの脱出が大切なことを学んだり、野鳥を追って貴重な生態写真をカレンダーにまとめた友もいる。また、大谷の採石場跡の「石の博物館」がリニューアルオープンしたので、見学に入った。うす暗い照明効果で昔の大谷石の採掘場が、「神秘的な宮殿のような風景」を浮かび上がらせていた。地下空間は通年10～15℃くらいに保たれて快適で、コンサート会場やアルコールの貯蔵庫等としても使われているようだ。

今年も11月初旬頃に「人生100年時代を生きる同期会」を開催したいと思う。(文責 岡本)



後列 左から 草薨、小堀、篠原、岡本
前列 大塚 三浦 久保田 以上7名

4 農経13回(昭和40年卒)同級会開催 クラス会

平成29年9月12日から14日の2泊3日の日程で、北海道で14名の参加を得て同窓会を開催した。

今回は北海道在住の大井戸君、高橋君、栗原君の3名が幹事となり、北海道の秋の旨いものが一堂に集まる札幌オータム・フェストに合わせての開催と設定されており、幹事の気配りと行き届いた企画・立案に大いに満足したところです。

初日のホテルでは、オカリナの「北の国から」などの演奏によるオープニングと、心に残る地元の歓迎挨拶に始まり、近況報告や、旧交を温め、夜の更けるまで宴会が続いた。

2日目は、天候が心配されたが、幹事さん方の日ごろの行いの良さが幸いし、行き先で雨を吹き飛ばしてくれ、見学に回ることが出来た。

大倉山ジャンプ台、昼食の札幌大通りのオータム・フェストでは、海の幸をハシゴで食べ歩いた。次いでバスで移動し、小樽運河クルーズなど、市内を観光巡りし、次回また、健康で再会出来ることを楽しみに帰路についた。

(花塚 功先 記)



5 農学科第6回生クラス会報告 クラス会

昭和33年度卒業農学科クラス会を平成29年7月10～11日塩原温泉で開催しました。会場は温泉街の中心部古町の「満寿家」です。参加者は15人。卒業生38人のうち15人が物故者となり、病気治療や体調不良、行事が重なった人以外参加されました。過去22回のクラス会は2日目に観光地や文化遺産など見学会場を設定していましたが、歩行に支障がある人も見受けられたので宴会だけに絞りました。

旅館で受け付けが始まると遠くは秋田、愛知県から駆け付けた級友は「やーやー元気かい」とお互いに声を掛け合って再会を喜んだ。部屋で着替えた後、旅館の周囲を散策したり、篝川沿いの露天風呂に入る人も。午後6時20分から記念撮影して宴会に入った。杯を重ねるにつれて話が弾み60年前の学生生活の話題で盛り上がった。級友は皆傘寿を過ぎており、会話はゆっくりだが一人ひとり心に響く話ばかりだった。

宴の後は同じ会場で舞台を使って「カラオケ」会場に早替り。古い昭和の歌謡曲や現役時代の歌など思い思いにマイクを握った。二次会は幹事の部屋で心ゆくまで懇談した。6回生のクラスは毎年欠かさず今回で23回目となっ

た。来年は群馬県での開催が決まり、1年後の再会を楽しみに翌朝マイカーなどに分乗して温泉街の観光地を巡りながら自由解散した。 幹事 佐藤 清治



6 宇都宮大学農学部農業経済学科 クラス会 (昭和42年・1967年卒) 同窓会 (農峰会) 開催

宇都宮大学農学部農業経済学科同窓会は、隔年ごとに開催し、全国各地から多くの仲間が集まり、旧交を温めています。前回は福島県飯坂温泉、前回は栃木県の塩原温泉で開催されました。今回は平成30年4月7日から8日に山梨県甲府市湯村温泉(開湯大同3年・西暦808年)「武田信玄公癒しの湯」の「柳屋」で倉光剛幹事の尽力のもと、10人が参加し、開催されました。

この日は富士山、南アルプスが峻嶒な姿を見せ、染井吉野の桜と赤みがかった桃の花が私達を温かく迎えてくれました。またこの日は「信玄公祭り」がおこなわれ、甲州軍団二十四将(甲冑姿・騎馬姿)の出陣式も見ることができました。

懇親会では、在学当時の思い出をはじめ、近況報告等々夜遅くまで尽きぬ話に盛り上がりました。話題の中心は、やはり年のせいか、健康、趣味に集中。

短い時間ではありましたが、久しぶりに懐かしく、旧交を温めることができました。次回は、宇都宮での開催と再会を約しました。 (神長 記)



7 農業経済学科第16回 クラス会 (昭和43年3月卒業) 同級会

平成29年9月13日(水)～14日(木)宮城県松島町で20名の参加を得て同級会を開催した。2日間とも好天に恵まれ、セン

ス溢れる楽しい同級会となった。

今回の幹事は宮城県在住の川俣君と猪狩君。細部まで気を配る川俣君と決断力のある猪狩君とのコンビネーションも抜群であった。

お2人、お疲れ様でした。そして有難うございました。

今回は特にこの会を立ち上げた、故及川君を偲び彼の故郷の宮城県での開催となった。初日松島温泉〈絶景の館〉に集結。懇親会となった。まず既に故人となっている、及川・石井・小堀の3君の御冥福を祈り、黙とう。早すぎる別れを惜しみ献杯と続いた。それぞれの近況報告の後、渡辺公之君がマジックを披露。彼のマジック&トークは年々精度が上がり、名人の域に達しており場はさらに盛り上がった。その後全員出席のもと幹事部屋での2次会となった。

飲むほどに酔うほどに楽しさ倍増。それでも1人減り、2人減りとなっていったが最終組は午前4時頃まで続いた(らしい)ちなみに筆者は早々とダウンし良く覚えておりません。翌日は松島観光後解散となった。

次回は2年後(2019年)長野県を会場に桐生君の幹事で開催することに決定した。桐生君よろしく願います。

我々も古希を超えたが、この会を少しでも長く続けていけるよう健康に注意して頑張っていきましょう!

(田村 宏志 記)

今回の出席者(20名)

五十嵐・猪狩・板橋・上野・岡田邦之・川俣・木村・桐生・小平・佐藤・田村・中田・中村・星野・堀越・松澤・松田・山本・渡辺公之・渡辺武夫



農芸化学科19回生クラス会報告

クラス会

5/10～5/11に八戸クラス会を伊藤ゆりさん幹事で行いました。

参加者は阿部・伊藤ゆり・小川・児玉・斎藤・鈴木節子・高崎・高梨知子・中島・福島・山田にゲスト伊藤正義氏(15回生)の12名。

初日は車3台でドライブ。残雪が所々に見える十和田湖畔を巡り、パークホテルの食事会へ。三好氏差入れの大吟醸酒を酌み交わし大盛り上がりでした。

「捨てがたき書込み数多古曆」の俳句で愛知県教育委員会賞を受賞した斎藤氏の明るい話題も花を添えました。

2次会はゆりさん宅で開催。山菜と美酒と笑顔とで1次会に勝るとも劣らぬ程の盛り上がり。

翌日は蕪島(海猫見物)、種差海岸をドライブ。大満足のうち無事お開きとなりました。伊藤さんには大変お世

話になりました。

次回は信州か沖縄での開催。高梨さん、高崎氏、仲間氏で調整し決める予定です。元気な笑顔でお会いしましょう。

(H.S 記)



燦々会(昭和39年農業経済学科卒同期会) 第18回会合は東京で開催

2000年(平成12年)秋から毎年全国各地で開催してきている燦々会の18回目の集いは、2017年(平成29年)10月26日(木)から27日(金)にかけて東京で開催されました。今回の参加者は、青柳、岸本、佐々木(重)、鈴木(吉)、篠崎、森山(齊藤)、鈴木(高瀬)、永井、成瀬(懇親会のみ)、藤野、谷口、横山、渡辺の13名でした。

JR上野駅公園口に当日14時に集合し、上野公園内の東京都美術館にて「ゴッホ展-巡りくる日本の夢-」を鑑賞した後、同公園内を散策(上野東照宮等)しながら、宿泊場所である水月ホテル鷗外荘に移動し、夜遅くまで楽しく歓談(夕食入浴等を含む)。

翌日(10月27日)は朝食後、ホテルから東京駅丸の内南口のはとバスのりばへ移動し、隅田川クルージングを含む東京遊覧はとバス半日コースに参加し、国会議事堂-半蔵門-靖国神社-東京スカイツリー(350m及び500m両展望台)を見て、浅草の元祖釜めし「春」にて昼食をとり、東京メトロ銀座線で上野駅に行き、JR同駅正面口で平成30年の再会を約して、お開きとしました。(文責 永井 経39年卒)

なお、燦々会のこれまでの開催地は次のとおりでした。第1回栃木宇都宮、第2回山形庄内、第3回埼玉秩父、第4回東京新宿、第5回静岡浜松、第6回栃木鬼怒川、第7回宮城松島、第8回茨城大洗、第9回秋田田沢湖、第10回栃木湯西川、第11回千葉鴨川、第12回山形蔵王、第13回群

馬伊香保、第14回宮城南三陸、第15回栃木中尊寺、第16回
 秋田栗駒山、第17回兵庫神戸、第18回東京上野。

10 農業工学科昭和39年入学クラス会 クラス会

私たちのクラス会は、昭和39年入学時の30名で構成され、毎年1回各県持ち回りで開催しています。最近では平成26年栃木（湯西川）、27年福島（裏磐梯）、28年山形（天童）と廻り、29年は10月16日～17日に千葉（九十九里）の「サンライズ九十九里」を会場として開催しました。

1日目、千葉にしては季節外れの寒さと雨の中、新装となったJR千葉駅14時に参加者12名が集合。ホテル送迎バスで会場に向かいました。ホテル到着後は、どこまでも続く九十九里浜と雄大なオーシャンビューを眺められるはずでしたが悪天候のため叶わず。懇親会は次回開催県の決定、お互いの近況報告等で予定時間はたちまち終了。部屋に戻っての2次会では急遽欠席となった新潟の宮坂君より送られてきた「地酒」でまたまた盛り上がり終わったのは深夜12時近く。全員が学生に戻った楽しい時間でした。

2日目は、太平洋から昇る「日の出」も天候の関係で残念ながらダメ。朝食後バスで向かった香取市の「伊能忠敬記念館」では、あまりにも精巧な「伊能図」に感嘆、大学時代の夏の測量実習が頭をよぎりました。

次に「成田山新勝寺」へ。ボランティアガイドさんの案内で寺院内を一廻りし、昼食は成田山門前の老舗「川豊」で美味しい鰻を堪能。JR成田駅で解散となりました。

今回の参加者は青森から山本、山形から梅津、福島から穴澤、茨城から黒駒、栃木から青木、大森、小堀夫妻、神奈川から平野、当番県の千葉から大家、星川夫妻の12名。次回（平成30年）は卒業50周年記念の年にあたり、栃木県（5回目）での開催が決定されました。是非とも多くの会員の出席を期待しています。

最後に、私たち同期会の最大の「誇り」は、会発足以来「30名全員が健在」であることです。これからもこの誇りがいつまでも続くことを祈念してやみません。

（幹事 星川 正晴）



11 農学科第16回生（昭和43年卒） 宇都宮にて開催 クラス会

期 日：平成29年11月12日～13日

毎年持ち回りで開催してきたクラス会も、卒業後50年の節目の年は是非宇都宮でという強い希望があり、何年かぶ

りの宇都宮開催となりました。そのためか近年になく参加者が多く大変盛り上がりました。

2日目は、午前中に大谷資料館を見学した後、母校の宇都宮大学を訪れ、キャンパスを散策しながら昔の思い出にひたることができ、皆大満足でした。また、峰ヶ丘同窓会事務局の方に、新装なった講堂の中を案内して頂き、良い体験をすることができました。

次回、新潟県で会えることを楽しみに散会しました。

参加者：大兼善三郎、大村まさ子、藤重 洋子
 菊地 泰、鯨 昭雄、櫻田 宗男
 佐藤 征二、下山 俱資、高橋 誉
 内藤 陸男、長縄 光延、中村 弘男
 橋本 亜英、林 重昭、山辺 守
 横田 一郎、八木征四郎（文責）

計17名



12 林学科10回生（昭和37年卒） 第20回同期会を開催 クラス会

今回で20回目となる同期会を下記のとおり開催しました。

と き：平成30年6月26～27日（1泊2日）

ところ：福島県高湯温泉 花月ハイランドホテル

出席者：14名 この他に同伴夫人2名 計16名

大気 満、大沼 綜助、大宮 重義

小野寺 隆、川口 幸夫夫妻、河原田洋三

栗原 知司、柴 征一郎夫妻、松原 弘昌

三浦 俊英、三上 昇、山田 博由

類地 晋明 大金 秀美

今回は、私達同期も、傘寿前後の年齢となったことを踏まえ、これまでとは趣向を変えて、観光視察等は取りやめて、温泉にゆっくりと浸かり、じっくりと腰を落ち着け、旧交を温めるという方式で開催しました。

1日目の午後3時（福島駅前発のホテルの送迎バス乗車）から、2日目の福島駅着午前11時までの、約20時間が旧交を温める場となりました。

懇親交流会の席では、物故者12名の方々に黙祷を奉げた後、会食に入り各人からの近況報告や話題の提供で盛り上げました。二次会は幹事の部屋で行われ、ほぼ全員が参加し12時頃まで話しが尽きない状況でした。ただ酒の量は、ひと頃と比べると少なくなったかなと思われました。温泉には、ほとんどの人が2～3回入浴されたようです。

2年後の同期会は、宇都宮での開催と決め、再会を約して散会しました。（幹事 大金 秀美）



2018(第20回)同期会 平成30年6月26～27日 福島県高湯温泉花月ハイランドホテル

13 第35回生（昭和62年3月卒） クラス会 同窓会報告

平成29年11月18日、ホテルニューイタヤにて30年ぶりの同窓会が開催されました。

これまでも那須塩原、名古屋、大阪等にとってミニ同窓会はあったのですが、今回の発起人の後藤（旧姓小原）女史の呼びかけに女性4名含む20名もの同級生が集まりました。各自言い尽くせない近況報告を江田君が巧みな司会で采配し、持ち寄ったプレゼント交換が終了すると、突如サプライズゲストに生化講座田中先生が。退官記念パーティーに参加したかったと言っていた高橋君感涙に本会プロデュースした大島総監督の力量を一同再確認したのでした。

なお、開催の3か月前から流行のSNSに同級生グループを作り、当時の思い出暴露合戦に思い出の曲リクエスト。これが同窓会の期待を一掃高めると、前日夜行バスで栃木入りした川口君からは日光東照宮一番乗り眠り猫報告、当日学園祭0次会会場からは学生実験棟横芝生からの草野球中継、当時学園祭に出店した農化居酒屋オールナイト21跡、さらには野口女史そっくりな現役農学部生の息子を探し当て撮影、ホテル内宴会場1次会、レストランでの2次会、カラオケ店3次会まで仲間のため実況。参加が叶わなかった片桐、阿藺坊も当日朝の近況を送りあうなど、30年の月日と距離を一気に縮められたような気がします。

次回開催は40年目の10年後2027年、ミニ同窓会を12月食品化学大根サミットにてと決定、田中先生をはじめ皆様の健康を祈念し散会となりました。

当日出席者：野口かほる（相原）、青木 敦隆、
伊藤 佳久、上野 隆久、江田 慶久

大島 祥一、佐藤みどり（岡田）
後藤 康愛（小原）、形田 堅彰（北）
川口 雅司、岩崎 浩美（小菅）、
小林 章男、込山 佳寛、酒井 祥秀
高橋 清隆、土屋 寛記、野中 貴
花岡 裕吉、吉田 誠、吉野 学 20名



14 農芸化学科16回生 クラス会（昭和43年3月卒）クラス会報告

2017年の当クラス会は福島県在住の河野、門馬、木村の3名が幹事団を結成して、10月16日、17日の両日で開催された。第1日目は郡山駅に集合して雨の大内宿、会津鶴ヶ城、黄金色の会津盆地を観光し、東山温泉に一泊して恒例のクラス会を行った。第2日目は会津若松の史跡白虎隊墓、日進館を廻り、猪苗代の野口英世記念館見学、紅葉の磐梯山裾野を眺めて郡山で解散した。某幹事友人の観光バスで全行程を経巡り、サービス満点、快適でした。

参加者は、伊東哲夫、榎本晃一、柴田武志、清水 修、染谷省三、田中秀幸、渡嘉敷義浩、橋本俊一、門馬忠昭、河野郷、木村哲夫、（以下は夫人同伴）大滝 薫、高梨俊治、樋浦康一郎、森正克英の19名でした。次回は、卒業50周年を記念して、栃木宇都宮で開催の予定。（木村 記）



皆様からのお便りを

お待ちしております。

